


せんとうき

館報 尖頭器



「尖頭器」とは主に旧石器時代に使われた狩猟具です

旧石器ハテナ館

史跡田名向原遺跡

旧石器時代学習館

TEL042 - 777 - 6371

平成 23 年 2 月 1 日

【第 9 号】



来館者10万人突破!



相模川から吹き付ける風がより一層寒さを増す1月ですが、旧石器ハテナ館ではそんな寒さを吹き飛ばすうれしい節目を迎えました。それは平成 23 年 1 月 12 日に旧石器ハテナ館への延べ来館者数が 10 万人を突破したことです。

記念すべき 10 万人目の来館者となったのは、市内在住の安宅ヒサエさんと滑川キヌさんでした。お二人には、大塚指導員から 10 万人達成の記念として、指導員が作った尖頭器が贈られました。

記念すべき 10 万人目の来館者となったお二人は「私たちが 10 万人目だと聞き本当に驚きました。これからも活躍して下さい」（安宅さん）、「相模原市に、このような 2 万年前の歴史が残っていることをはじめて知りました」（滑川さん）と話していました。

今後も 20 万人、30 万人と、より多くの方に来館して頂き、田名向原遺跡への理解を深めてもらえるよう、職員一同一丸となって努めていきたいと思ひます。



10 万人達成記念写真



指導員手作りの尖頭器を贈呈

旧石器ハテナ館作品展

昨年末、旧石器ハテナ館では 1 年間の活動の発表として作品展を行いました。前年度の作品展に引き続き、体験学習の作品のほか、利用団体の作品を展示しました。また、市内中学生の文化財保護ポスター展も併せて開催しました。短い開催期間にも関わらず、多くの方々に見学していただきました。協力していただいた関係団体の方々へ厚く御礼申し上げます。



↑ 今回も市内中学生の文化財ポスターは、どれも力作ぞろい!! 毎年、見るのを楽しみにしています。

体験教室で作った、勾玉や土器、矢じりなどを展示しました。本物と見間違ふほどの作品です。↓



↑ 大勢の方に見に来ていただきました。次年度の作品展も皆さん楽しみにして下さい。

? 旧石器ハテナ館はどんな所?

旧石器ハテナ館は開館して間もなく3年目に入ろうとしています。表面に記載してあるように、延べ来館者数も10万人を達成し、徐々にではありますが周知されてきたと思いますが、まだ当館に来館したことがない方も多いのでは?…ということであらためて旧石器ハテナ館がどんな場所か紹介したいと思います。

Q: どんどころ??

A: 田名向原遺跡から発見された約2万年前(旧石器時代)の国内最古と言われる住居状遺構を中心とした学習施設です。

他に黒曜石の原産地についてや、旧石器時代の気候や生活の様子、また縄文時代～奈良・平安時代まで学ぶことができます。



ハテナ館正面入口



展示室の様子



住居状遺構(復元)



住居状遺構想定復元模型

Q: 住居状遺構ってなに??

A: 2万年前の人びとが使っていた大量の石器と柱穴、炉跡が発見された、直径10mもの建物跡の事です。

田名向原遺跡は、人類の定住化の歴史を語る上で重要な遺跡として国指定史跡となり、住居状遺構は公園内に現状保存されています。

Q: 体験教室はできますか??

A: 火起こしや石器・勾玉・土器作りなどの各種体験教室のほかに、様々なイベントをおこなっています。

毎月第3日曜日には定例体験教室を開催しています。詳しくは「広報さがみはら」、市役所HPをご確認ください。



石器作り



土器作り



小学校団体見学



実習・講習室

Q: 団体利用(見学)をしたい場合は??

A: 随時受け付けておりますので、当館に直接申し込み下さい。

団体見学はもちろん、館内にある実習・講習室も学校・公民館・サークル等での利用も可能です。詳しくは当館までご連絡下さい。



旧石器ハテナ館には、ここでは紹介しきれなかったイベントや体験教室などが盛りだくさん!!ぜひ一度ご来館ください!!

